



Corporate Profile

会社案内

ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

沿革

事業内容

目指す未来

Innovation today, healthier tomorrows

私たちの意志を込めたスローガン

従業員一人ひとりが、つねに自らの変革(=Innovation)を追求しながら、
新たな発想や高い研究開発力により
革新的な医薬品や医療ソリューションを社会に届けることで、
患者の皆さまとご家族が、より健やかに自分らしく(=healthier)過ごす
日々を実現したいという、私たちの強い意志が込められており、
理念を端的に表しています。



ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

沿革

事業内容

目指す未来

ごあいさつ



住友ファーマ株式会社
代表取締役社長

野村 博

住友ファーマ株式会社 代表取締役社長の野村 博でございます。

2005年10月に大日本製薬株式会社と住友製薬株式会社が合併し誕生した当社は、その後16年半の間に、事業のグローバル化を実現し、新たな研究領域への参入や大型買収・提携など数々の挑戦を行い、会社の姿が合併当時から大きく変容しました。当社がさらに発展し続け、新たな事業ステージに向けて進化するため、2022年4月1日、商号を「大日本住友製薬株式会社」から「住友ファーマ株式会社」に変更し、グローバルに認知されている「住友」ブランドを用いて当社グループのブランドを刷新しました。

住友ファーマグループは、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」ことを理念とし、この理念を実現するため、また、日本はもちろん世界の方々に革新的で有用な医薬品や医療ソリューションをお届けするため、研究開発に全力を注いでいます。

当社グループは、アンメット・メディカル・ニーズが高い精神神経領域およびがん領域を重点疾患領域とし、これまで紡ぎあげてきた当社グループの経験と知識を最大限生かせるこれらの領域において、引き続き、医薬品、再生・細胞医薬、非医薬等の研究開発に積極的に取り組みます。さらに、その他領域においても保有アセットを生かし、確かな価値を患者さんに届けるべく、着実な研究開発を推進します。また、国内では糖尿病領域ナンバーワン企業を目指した事業活動にも取り組んでいます。

当社は、これらの事業活動を通じて、世界で存在感のある「グローバル・スペシャライズド・プレーヤー」となることを目指します。また、患者さんご家族、医療関係者、株主、投資家、従業員、取引先、地域社会など多様なステークホルダーとの積極的な対話、国内外での社会貢献活動、ダイバーシティ&インクルージョンの推進といった幅広い取り組みを行うとともに、事業活動を行うにあたってはコーポレートガバナンス体制を強化しコンプライアンスを徹底することにより、持続的な企業価値の向上につなげ持続可能な社会の実現に貢献します。

住友ファーマグループの全ての役員、従業員が心を一つにし、ステークホルダーの皆さまの信頼に応え、皆さまに幸せを届けられる会社であり続けるよう、たゆまぬ努力と挑戦を続ける所存でございます。

今後も、これまでと変わらぬ皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

フィロソフィ

住友ファーマグループは、理念（グループの存在意義、社会に対する約束・使命）、バリュー（全役員・従業員が共有すべき価値観）および行動宣言（日々の業務において守るべき行動規範）をグループ全体で共有するフィロソフィとしています。「住友の事業精神」のもと、企業価値の向上に努めるとともに社会課題の解決に貢献します。

理念

人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する

バリュー

- Patient First
- Always with Integrity
- One Diverse Team

行動宣言

住友ファーマおよび住友ファーマグループ各社（以下「当社グループ」という。）の役員・従業員は、たゆまぬ事業の発展を通して、社会から信頼され存在感のある企業を目指し、法令遵守はもとより、以下の行動宣言に従って企業活動を遂行し、持続的な企業価値の向上と社会課題の解決に貢献します。

当社グループの役員は、本宣言の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範これに取り組むとともに、社内への周知徹底を図り、取引先にも促します。

万一、本宣言の精神に反するような事態が発生したときには、役員自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明らかにした上で、自らも含めて厳正な処分を行います。

1. “Innovation today, healthier tomorrows”の実現に取り組みます
2. 誠実な企業活動を行います
3. 積極的な情報開示と適正な情報管理を行います
4. 自らの能力を高め、協働します
5. 人権を尊重します
6. 地球環境問題に積極的に取り組みます
7. 社会との調和を図ります

ブランドマーク



住友ファーマのコーポレートシンボルマークである「住友井桁」は、住友グループ共通のマークです。コーポレート・カラーのSMPグリーンは、健康で生き生きとした気分の状態、未来の可能性の象徴である若葉の色などを表現しています。

ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

沿革

事業内容

目指す未来

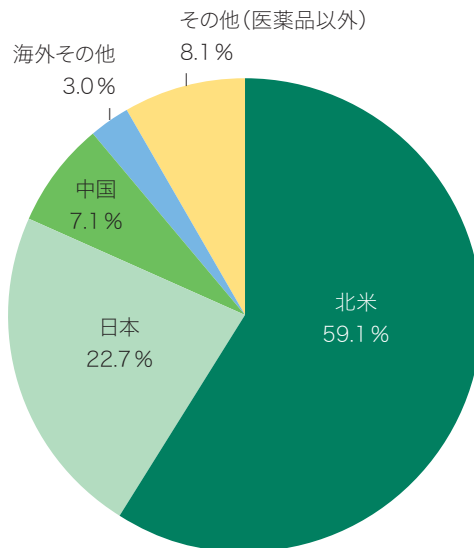
会社概要

商号	住友ファーマ株式会社 Sumitomo Pharma Co., Ltd.
設立	1897年(明治30年)5月14日
資本金	224億円
従業員数	3,026名(連結:6,250名)(2023年3月31日現在)
主要拠点	〈本 社〉大阪本社、東京本社 〈支 店〉全国12支店 〈工 場〉鈴鹿工場、大分工場 〈研究所〉総合研究所、大阪研究所 〈物流センター〉神戸物流センター、東京物流センター
事業内容(連結)	医療用医薬品等の製造および販売
大阪本社	大阪市中央区道修町2-6-8 (〒541-0045)
東京本社	東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー(〒103-6012)

業績状況(2023年3月期)

売上収益(5,555億円)
コア営業利益(164億円)
研究開発費(1,061億円)

セグメント別売上収益



ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

沿革

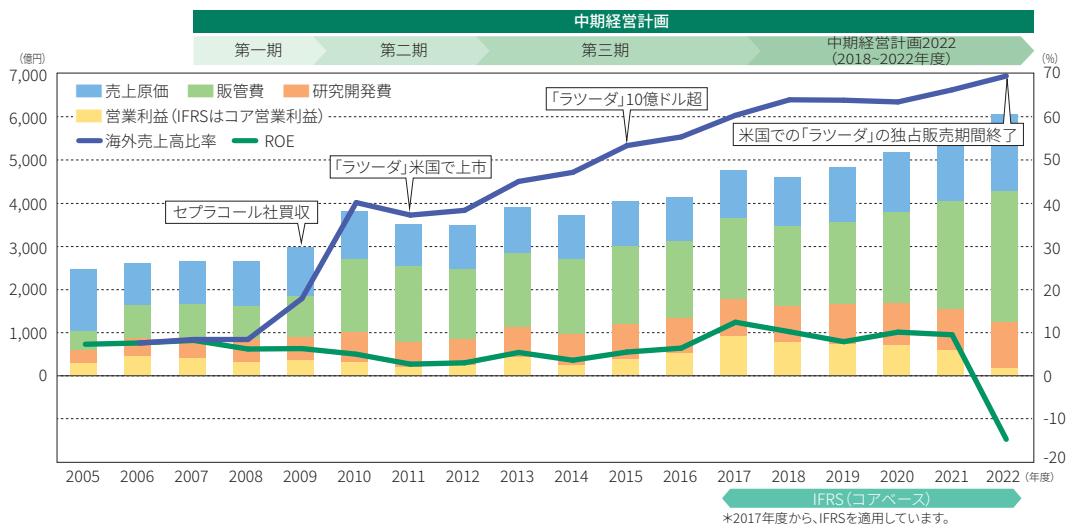
事業内容

目指す未来

沿革

旧 大日本製薬		旧 住友製薬	
1897年 (明治30年)	5月14日設立。1897年に大阪・道修町の有力薬業家21名により、大阪製薬株式会社が設立される		2月6日設立。住友化学工業株式会社（現在の住友化学株式会社）の医薬事業の研究、開発、製造部門と、住友化学の医薬品の販売総代理店であった稲畑産業株式会社の医薬販売部門を継承して、1984年2月に住友製薬株式会社が設立され、同年10月1日に営業を開始
1898年	大阪・海老江に製薬工場（旧大阪工場、旧大阪総合センター）を設置。東京にあった半官半民の大日本製薬会社を吸収合併し、社名を大日本製薬株式会社に改称	1984年 (昭和59年)	
↓ ↓			
2005年10月1日 大日本住友製薬(現 住友ファーマ) 誕生			
2009年	● 米国のセブラコール・インク(現スミトモファーマ・アメリカ・インク)を買収		
2012年	● 米国のボストン・パイオメディカル・インク(現スミトモファーマ・アメリカ・インク)を買収 ● サノビオン社が米国のエレベーション社を買収		
2013年	● シンガポールに子会社(現スミトモファーマ・アジア・パシフィック・プライベート・リミテッド)を設立		
2014年	● 再生医療製品事業に関する合併会社(株式会社サイレジェン)を設立		
2017年	● 米国のトレロ・ファーマシューティカルズ・インク(現スミトモファーマ・アメリカ・インク)を買収		
2018年	● 再生・細胞医薬製造プラント(SMaRT)竣工		
2019年	● 生産拠点の統合(4工場体制から2工場体制に移行) ● Roivant Sciences社との戦略的提携契約を締結し、米国に子会社(スミバント・バイオファーマ)を設立。その傘下にマイオバント社、ユーロバント社、エンジバント社、アルタバント社およびスピロバント社を子会社化		
2020年	● 再生・細胞医薬分野の製法開発、製造などの受託(CDMO) 事業に関する合併会社(S-RACMO株式会社)を設立		
2021年	● 大塚製薬株式会社と精神神経領域における共同開発・販売提携契約を締結		
2022年	● 商号を大日本住友製薬株式会社から住友ファーマ株式会社に変更		
2023年	● 連結子会社の住友ファーマフード&ケミカルおよび住友ファーマアニマルヘルスの株式譲渡 ● 中期経営計画2027('23-'27年度)を策定		

業績推移



ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

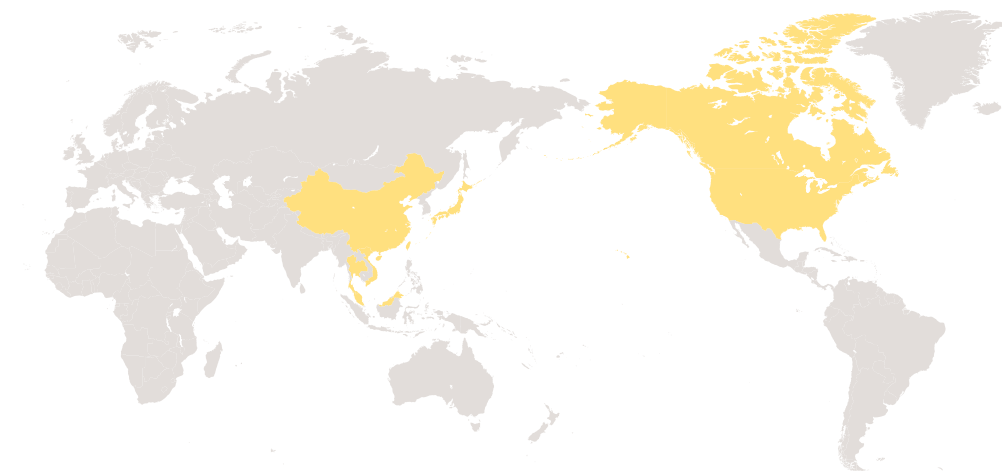
沿革

事業内容

目指す未来

事業内容

日本・北米・中国は現地本社機能・販売機能・開発機能など強固な基盤を有しています。



日本事業

精神神経領域に加えて、糖尿病領域、レアディジェーズ領域に注力しています。

従業員数

住友ファーマ株式会社:3,026名(2023年3月31日現在)

主要製品

トレリーフ®

売上収益	167億円(2022年度)
発売日	2009年3月
適応症	パーキンソン病、レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム
特長	レボドパ賦活型パーキンソン病治療薬



ラソーダ®

売上収益	96億円(2022年度)
発売日	2020年6月
適応症	統合失調症、双極性障害におけるうつ症状
特長	ドパミンD ₂ 、セロトニン5-HT _{2A} 、セロトニン5-HT ₇ 受容体アンタゴニスト



ツイミグ®

売上収益	22億円(2022年度)
発売日	2021年9月
適応症	2型糖尿病
特長	既存の経口血糖降下剤とは異なる構造を有する新しいクラスの経口血糖降下剤



中期経営計画2027の地域戦略(日本)

- 注力製品および新製品の価値最大化に注力し、事業収益を確保
- 再生・細胞医薬事業およびフロンティア事業の強化に取り組む

ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

沿革

事業内容

目指す未来

事業内容

北米事業

2023年7月にグループ会社再編により統合したスミトモファーマ・アメリカ・インクが医療用医薬品の研究開発、製造および販売を行っています。

従業員数

スミトモファーマ・アメリカ・インク：約2,200名
(2023年3月31日現在。傘下の連結子会社の人員を含む。)

主要製品

ORGOVYX® (オルゴビクス)

売上収益	247億円(2022年度)
発売日	2021年1月
適応症	前立腺がん
特長	1日1回経口投与の低分子GnRH(ゴナドトロピン放出ホルモン)受容体アンタゴニスト



MYFEMBREE® (マイフェンブリー)

売上収益	45億円(2022年度)
発売日	2021年6月
適応症	子宮筋腫・子宮内膜症
特長	1日1回経口投与の低分子GnRH(ゴナドトロピン放出ホルモン)受容体アンタゴニスト



GEMTESA® (ジェムテサ)

売上収益	247億円(2022年度)
発売日	2021年4月
適応症	過活動膀胱
特長	主要な3症状(切迫性尿失禁、尿意切迫感、頻尿)全てに有効な1日1回投与の経口β3アドレナリン受容体作動薬



中期経営計画2027の地域戦略(北米)

- 基幹3製品の早期価値最大化に最注力する
- 米国グループ会社の再編を着実に推進し、シナジーの実現に取り組む

ごあいさつ

フィロソフィ

会社概要

沿革

事業内容

目指す未来

事業内容

中国事業

住友制薬(蘇州)有限公司が医療用医薬品の製造(小分包装)および販売を行っています。
精神神経領域に加えて、細菌感染症治療剤を主力製品として事業を展開しています。

従業員数

住友制薬(蘇州)有限公司:638名(2023年3月31日現在)

主要製品

メロペン®(中国販売名:メペム)

売上収益	285億円(2022年度)
適応症	一般感染症、発熱性好中球減少症
特長	多くの国で使用されている重症感染症の標準的治療薬



中期経営計画2027の地域戦略(中国・アジア)

- 製品ラインアップを拡充する
- 販売国の拡大等により収益と利益の最大化に取り組む

その他の地域

東アジア・東南アジア

シンガポールにおける子会社の機能強化を実施し、タイ、台湾およびマレーシアに現地法人設立

欧州その他

パートナー企業との連携

目指す未来

変わりゆくヘルスケア領域での社会の課題を解決する企業となることを目指し、2019年4月にビジョン「もっと、ずっと、健やかに。最先端の技術と英知で、未来を切り拓く企業」を設定しました。

当社グループは、精神神経領域およびがん領域を重点疾患領域とし、医薬品、再生・細胞医薬、非医薬等による多様なアプローチで人々の健康で豊かな生活に貢献します。また、その他領域においても保有アセットを生かし、確かな価値を患者さんに届けます。これにより、2033年に「グローバル・スペシャライズド・プレーヤー」の地位を確立することを目指します。

住友ファーマが描くグローバル・スペシャライズド・プレーヤー

精神神経領域およびがん領域を重点疾患領域とし、医薬品、再生・細胞医薬や非医薬等の多様なアプローチで人々の健康で豊かな生活に貢献し、グローバルに独自のポジションを確立。

